

インターバンクの声（2016 年 2 月 3 日）

先週金曜日の日銀のマイナス金利導入でも、ドル円相場を昨年 11 月～12 月下旬頃の 120 円台—123 円台辺りのレンジに安定させるのは簡単ではないと思っていたが、さすがに一週間も経たないうちに 120 円を割って来ると少しショックだ。120 円を割り込んで来たのが、まさにニューヨーク市場が閉じようかとする時間だったので、119 円台での滞空時間がさほど長くなっているわけではなく、本邦勢を中心にしたアジア市場参加者の出方次第では、あっさり 120 円台に戻すことも可能だろう。ただ昨夜の海外市場後半での円買いは、原油価格の下落や欧米の株式市場の大幅下落といった、昨年末から新年にかけて取られたリスク回避姿勢時と同じ条件下での変化になっており、そう簡単に再度の円売りは仕掛け辛そうだ。足許の 120 円水準が丁度金曜日の日銀会合後の乱高下したレンジの中間値近くなので、ここを我慢できないと会合前の出発点 118 円半ばまでの下落があるかも知れない。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。